

Construction 工事範囲

当社では、エレベーターの設計から据付まですべて一貫して責任ある仕事をお引き受けしています。下記の項目については、除外工事としてエレベーターの見積りに含まれていませんので、建築および電気工事会社で施工していただくようお願いします。

※工事範囲は制御盤・巻上機頂部配置の場合になります。制御盤・巻上機下部配置の場合は、別カタログ「アーバンエース HF 設計・施工のための資料」をご参照ください。
※EP型(非常用)は、別カタログ「アーバンエース HF Plus 設計・施工のための資料」P.29をご参照ください。

区分	NO.	除外工事の内容
建築工事関係	1	各階出入口まわり壁の穴あけ工事およびその仕上げ工事(出入口、押しボタン、乗場表示灯用) コンクリート躯体誤差が30mm以上あるときは補正工事をお願いします。
	2	乗場出入口の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け床持ち出し工事
	3	修理および据付工事に用いる吊りフック(RC構造)・吊りビーム(鉄骨構造)の昇降路頂部への設置工事
	4	昇降路間仕切りまたは中間ビームの製作および取り付け工事(必要な場合)
	5	エレベーター出入口廻りの壁および床その他建築補修仕上げ工事(モルタル詰めほか)
	6	ピット内防水仕上げ工事(必要に応じて排水工事も含む)また、ピット内仕上げ面の水平度は1/200以下としてください。
	7	ピット寸法が図面と異なる場合の誤差修正(はつり・埋め戻し)工事
	8	通過階がある場合の昇降路救出口設置工事およびかご床先から昇降路壁まで125mm以下とする工事
	9	鉄骨構造の場合三方枠、敷居、押しボタン、インジケーターなどの固定用鋼材の設置工事
	10	鉄骨構造の場合のレール取り付け用ファスナー(各段)設置工事およびさび止め塗装工事
	11	各階のレール支持用H形鋼柱設置工事・PC構造に於けるインサート埋め込み工事
	12	三方枠、インジケーター周りの防火区間処理工事
	13	鉄骨構造階における構造材の耐火処理工事
	14	昇降路と居室が隣接する場合の居室防音および防振工事
	15	併設されたエレベーターの最下階が異なる場合のピット間仕切り工事
電気工事関係	16	昇降路最上階の制御盤までの動力電源(200~220V)、照明電源(100V)および 接地線の引き込みならびに継ぎ込み工事(エレベーター工事の着工前までに本設配線で引き込み願います) 制御盤の一次側ターミナルに接続してください。
	17	ピット点検用コンセントの設置
	18	昇降路最上階から外部設置のインターホン、監視盤ほかエレベーターに必要な配管配線工事
	19	昇降路頂部の煙感知器の設置工事(自動火災報知機を設ける建物の場合)また、オーバーヘッドが基準値を超える場合は、 以下の対応をお願いします。 ・オーバーヘッドが基準値を超える場合、難燃材料の追加天井を昇降路頂部に設置してください。 ・オーバーヘッドが基準値を超える、かつ、追加天井設置不可の場合、昇降路頂部設置の煙感知器を遠隔点検式に変更、または煙感知器 点検口までの点検ルートおよび点検スペースを確保してください。 なお、遠隔点検式煙感知器の適用可否は所轄の消防署または特定行政庁に確保してください。
	20	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路最上階までの配管配線工事
	21	火災時管制運転付きの場合の火災報知器接点の昇降路最上階への引き込み工事
	22	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事
	23	【非常用のみ】監視盤までの監視盤用電源(予備電源有)の引き込み工事
	24	【非常用のみ】停電時の非常電源切替装置(自動)および電源切替識別接点の配管配線工事
	その他確認事項	25
26		エレベーター据付用および試運転調整用電力、工事用水、砂、セメントの供給
27		据付工事員現場詰所および材料置場の確保
28		昇降路内建築工事仮設床(水平養生)用の金網、デッキプレートなどの撤去工事
29		エレベーター着工前までの各階出入口開口部の養生設置工事
30		エレベーターを工事に使用する場合別途ご用意ください。
31		昇降路内法(間口、奥行)寸法は、ピットからオーバーヘッドに至るまで昇降路全域にわたり確保してください。
32		【非常用のみ】エレベーター全階の避難経路板設置工事
33		【非常用のみ】エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工

- [注] 1. 昇降路内にエレベーターに関係のない用途の配管・ダクトなどが露出しないようにしてください。
2. 昇降路内温度は最低+5℃、最高40℃以内とし、湿度は月平均90%、日平均95%を超えないようにしてください。
3. 昇降路は有毒ガスや、甚だしい量の塵埃などが入らないようにしてください。
4. 出入口が屋外に面する場合、出入口まわりにひざし、水きりなどを設け、雨水が昇降路内に流れ込まないように十分に配慮してください。
5. 昇降路内壁や鉄骨部材に使用する塗料、接着剤、モルタルなどはホルムアルデヒドの発散が少ない材料を使用してください。
6. 電源電圧の変動は-10~+10%以内、電圧不平衡率5%以内に保つよう電源を設置してください。
7. 出入口には直射日光があたらないようにしてください。